

高山市
未来計画

進捗
状況

令和
7~8
年度



高山市こども未来計画（計画期間：令和7～11年度）
進捗状況（令和7年度末）

0. はじめに

市では、こどもや若者をまちづくりの中心に捉えた取組みを総合的に推進し、まちに暮らす全ての人の幸福や将来の希望につなぐことを目指し、令和7年3月に「こども未来計画」を定め、計画に基づく取組みを推進しています。

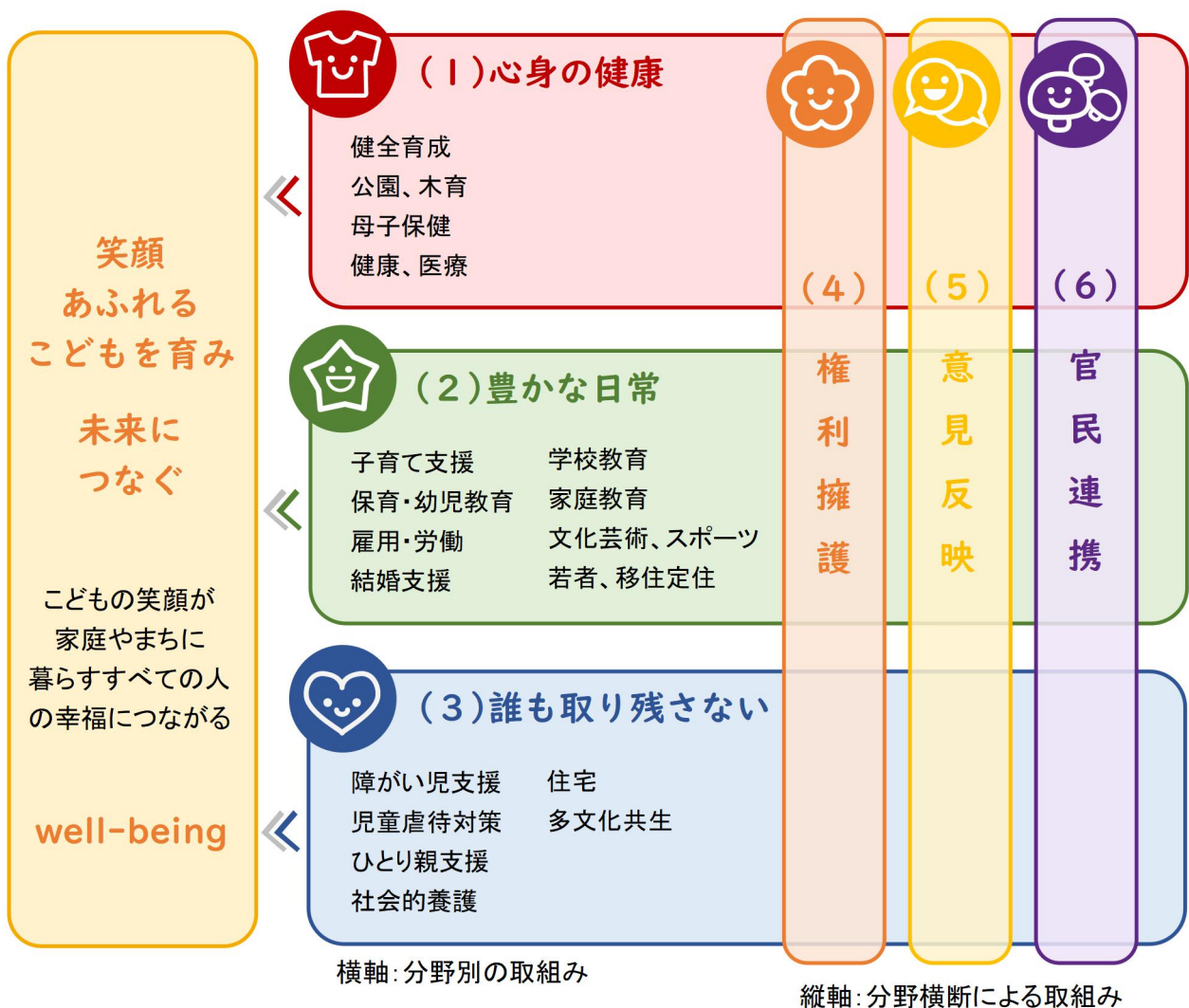
同計画においては、「毎年度、こども未来推進委員会等において、評価指標（KPI）を含めた取組みの進捗状況を確認し、取組みの見直しなどに反映するとともに、その結果を公表します。」と定めています。

初年度である令和7年度の終了にあたり、主な取組みや成果指標（KPI）を本書のとおり取りまとめたので、お気付きのこと等がありましたら、市役所こども政策課までお気軽にお知らせください。

[参考] 計画の目指す姿の実現に向けた施策体系イメージ

基本目標(目指す姿)

基本施策(取組みの柱)



注記

※計画と同様、複数の区分に該当する取組みもありますが、より関わりの大きい方へ記載し、再掲はしていません。

※過去から続く経常的な取組み、国県が主導する取組みはできるだけ記載せず、新規拡充や新たな視点を取入れた主要な取組みを掲載しています。



(1) こども家庭の「心身の健康」の推進



① こどもの心と身体を健全に育む環境整備の推進



i 魅力的なこどもの遊び場の創出と活用の推進

《主な取組み》

ア) つどいの広場の拠点的整備 **別冊1**

イ) 高山駅西地区複合・多機能施設の整備

○文化芸術（ホール）、交流（多目的ルーム等）、子育て支援（遊び場）の各機能および立体駐車場などを一体的に整備

○令和7年9月に施設整備の公募型プロポーザルを公告（応募者がいないため令和8年3月に中止）

○現在、事業費、機能などについて、様々な可能性を検討中

ウ) 長寿命化整備計画に基づく公園の改修整備 **別冊2**

エ) 木育、森林環境教育の推進

○令和7年度より「飛騨木遊館運営協議会」等との連携により、保育園や幼稚園、小中学校等を対象とした木育推進のための出前授業を開催



ii こどものライフステージに応じた居場所づくりの推進

《主な取組み》

オ) こどもの居場所づくり支援 **別冊3**

カ) 官民連携による不登校児童生徒の支援 **別冊4**

キ) こども食堂等の運営支援

○令和7年度より補助率を1/2から2/3に拡充し、5団体のこども食堂等の開設や運営に必要な経費を助成

○令和7年度、運営団体のネットワークによる「みんなの食堂MAP」を作成



評価指標（KPI）

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
児童センター、つどいの広場など屋内型遊び場の利用者数(単年度)	94,969人(R5) 108,561人(R6)	112,640人	100,000人
支援対象の「こどもの居場所」によりサポートを受けたこどもの人数(単年度)	—	38人	40人
「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	68.9%	73.5%	↑
「身の回りに木や森に親しむ環境が整っている」と感じている市民の割合	63.7%	65.7%	↑



②子どもと家庭の健康維持を図る伴走支援の推進

《主な取組み》

ク) 5歳児健診、事後指導の実施 **別冊5**

ケ) 助産師相談の拡充

○令和7年度より高山地域では2→4回/月、支所地域では4つのブロックごとに0→1回/月と、身近な地域で気軽に相談できるよう機会を拡大(R6:347人→R7:697人)

コ) 中核病院と連携した包括的な母子保健体制の構築 **別冊6**

サ) 公共施設への授乳室の整備 **別冊7**

シ) こどものワクチン接種等に対する助成

○令和7年度より1歳から就学前のこどものおたふくかぜ予防接種費用(上限3千円)を助成

○令和7年度より岐阜大学に地域周産期医学講座を開設、妊産婦等が安心して産婦人科医療が受けられる体制を確保

○令和8年度より小児インフルエンザ予防接種費用(注射型2,200円、経鼻型4,400円)の助成の対象者を中学生までから高校生相当までに拡大

○令和8年度より新生児の感染予防のため、妊婦に対するRSウイルスワクチンの予防接種を開始



評価指標 (K P I)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	68.9%	73.5%	↑
「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じている市民の割合	51.9%	55.0%	↑



③子どもが適切に受診できる医療体制確保の推進

《主な取組み》

ス) 大学や中核病院との連携による地域医療体制の維持 **別冊8**



評価指標 (K P I)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	53.8%	54.7%	↑



(2) こども家庭への「豊かな日常」の提供



①安心して生み育てられるこども家庭支援の提供

i

各種給付や負担軽減など経済支援の提供

《主な取組み》

セ) 19歳高校生の医療費の無償化

○令和5年度より、市独自にこども医療費の無償化を15歳から18歳の年度末までのこどもに拡大していたところ、令和8年度より、高校等に在学する19歳の年度末までのこどもに対象を拡大

ソ) 中高生に対する公共交通の利用支援

○令和8年度より若年層の公共交通利用の促進のため、幹線バスの学生回数券代の1/3を割引

タ) 妊婦健診や出産のための交通費に対する支援 **別冊9**

チ) 不妊治療にかかる交通費に対する助成

○令和8年度より遠方の不妊治療施設までの移動にかかる交通費の8/10を助成(不妊治療の医療費に対する支援の対象経費を拡充)

ツ) 午睡用コットの導入による保護者の負担軽減と保育士の働き方改革 **別冊10**

テ) 小中学校の給食費の無償化 **別冊11**

ii

ニーズに応じたきめ細かな託児・支援サービスの提供

《主な取組み》

ト) 病児保育事業の対象年齢の拡大

○令和8年度より病児保育を利用できるこどもの対象年齢を小3から小6までに拡大



評価指標 (KPI)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
この地域で子育てしたいと思う親の割合 (3つの健診の平均)	95.4%(R5) 95.5%(R6)	96.2%	↗
「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	68.9%	73.5%	↗



②家庭の就労や育ちを支える保育サービスの提供

《主な取組み》

ナ) 保育園遊戯室等への空調整備

○公立園は、令和7年度に岡本保育園、令和8年度に久々野保育園の遊戯室にエアコンを順次整備

○私立園は、令和7年度にたんぽぽ保育園遊戯室へのエアコン新設、その他4園のエアコン更新等に対し助成

二) 保育士を目指す学生の実習支援

- 令和7年度より、市内で保育実習を行う学生に対する1万円の助成を開始(22件)
- ヌ)「こども誰でも通園制度」の開始 **別冊12**

🔑 評価指標 (KPI)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	68.9%	73.5%	↑

🏠 ③学校や家庭、地域での豊かな学びや体験の提供

《主な取組み》

ネ) 朝日・高根義務教育学校の整備

- 令和10年度の供用開始を目指し、朝日小学校の校舎を活用した小中一貫の義務教育学校を整備
- 自分に合ったペースで学ぶ授業や「その道のプロフェッショナル」から学ぶ連携プロジェクトなど、特色ある教育を展開

ノ) 中学校部活動の地域移行

- 令和7年度より支所地域から高山地域へスクールバス(4路線)を毎週土曜日に運行、令和8年度より日曜日も運行を開始
- 令和8年度より地域クラブ及び地域移行していない中学校部活動に加入している生徒1人あたり3千円を各クラブ等に助成

ハ) 新野球場などスポーツ施設の整備 **別冊13**

ヒ) こどものスポーツ活動の支援

- 令和7年度より「高山市ジュニアスポーツ認証制度」を創設し、認証クラブは施設使用料の減免や学校施設の優先利用を認めるなど、こどものスポーツ環境を充実

フ) 小中学生の職場体験事業に対する助成

- 令和7年度より、市雇用促進協議会が飛騨高山フューチャープロジェクトと連携して行う「地域お仕事発見隊」への1/2助成の限度額を500→1,000円に拡充

🔑 評価指標 (KPI)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
「生きがいや喜びを持って、自分らしく生活できる環境が整っている」と感じている市民の割合	49.1%	54.0%	↑
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	61.4%	62.4%	↑

(次ページにつづく)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	53.2%	56.0%	↗
「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	48.3%	51.6%	↗



④若者が夢や誇りを持ち活動できる環境等の提供

i

若者の地元愛が育まれ活動が活性化する支援等の提供

《主な取組み》

へ) 高校生が主体となったイベント、若者による活動等の支援 **別冊14**

ホ) 若手社員向けセミナー「YAONA!」の開催 **別冊15**

ii

若者の結婚や定住の後押しとなる様々な環境等の提供

《主な取組み》

マ) 企業のDX推進に向けた伴走型支援

○令和8年度より、企業に専門家を派遣してデジタル技術の導入やデジタル人材の育成を伴走型により支援するとともに、事例集を作成して成果を市内企業に周知

ミ) 移住定住の促進 **別冊16**

ム) 都市圏若手人材交流イベントの開催

○令和8年度より、東京都内で地元出身者や高山市に関心ある若者を対象とした市内企業との交流会を2回開催



評価指標 (KPI)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
「若者が活躍できる環境が整っている」と感じている市民の割合	27.0%	31.5%	↗
「地域産業が受け継がれるための人材確保・後継者育成が進んでいる」と感じている市民の割合	19.7%	20.9%	↗
「若者や女性、高齢者、障がい者、外国人など、働く人の望む就労の場が確保されている」と感じている市民の割合	31.0%	37.0%	↗
「移住を希望される方を受け入れる環境が整っている」と感じている市民の割合	36.3%	41.6%	↗



(3)「誰も取り残さない」こども家庭への支援



①困難を抱えるこども家庭への切れ目ない支援

i こどもへの虐待防止、悩みや不安の解消に向けた支援

《主な取組み》

メ) こども家庭センターを中心とした連携したこども家庭支援 **別冊17**

モ) ヤングケアラーの普及啓発

○関わる大人や支援者の気付きとなるような講演会の開催、タウン誌への掲載、メールやチラシなど各種媒体による周知

ii こどもの発達に向けた個に応じた適切な支援

《主な取組み》

ヤ) 保育士や教員の支援力の強化

○令和7年度より、保育園や学校などへの巡回指導、発達支援研修や実践報告会の実施などの業務を専門的な外部機関に委託して効果的に実施

ユ) 通園等助成制度の見直し

○令和8年度より、月あたり定額から通園回数など実態に応じた助成額へと見直し

iii 経済的に困窮するこどもや家庭に対する支援

《主な取組み》

ヨ) 重層的支援体制の構築 **別冊18**

ワ) 民間事業所と連携協定に基づく取組み

○家庭で余った食材を支援団体等へ届けるための「フードポスト」の設置、取組みの周知



評価指標 (K P I)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
こども家庭相談員による新規相談件数(単年度)	946件(R5) 937件(R6)	948件	1,000件
こども家庭センターにおけるサポートプランの作成件数(単年度)	17件	53件	40件
「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じている市民の割合	53.8%	55.0%	↗
「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じている市民の割合	44.8%	48.5%	↗



②ひとり親家庭の自立促進に向けた積極的な支援

《主な取組み》

ヲ) ひとり親家庭の家事育児のサポート

- 令和7年度より家事援助や託児が必要なひとり親家庭が、「心身の不調などにより登校できない子どもが居るが、親は仕事を休めない場合」といった理由でも、家庭支援員の訪問によるサポートを受けられるよう、市独自に対象を拡大(R7:6人)



評価指標 (K P I)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
母子・父子自立支援員による新規相談件数(単年度)	72件(R5) 70件(R6)	79件	80件
母子家庭等支援事業補助金を利用した資格取得者などの人数(累計)	3人	5人	10人



③多様性を有するこども家庭への温もりある支援

《主な取組み》

ン) 多文化共生の推進

- 令和7年度、在住外国人に向けたごみの分別や小中学校の学校生活などを分かりやすく説明する動画を制作し、HPに公開するとともにSNSで配信

- 日常生活における課題や対応策などについて、外国人や関係者で意見交換を行う座談会を開催

ガ) 日本語学習指導員の配置

- 令和8年度より、外国籍や外国から帰国した児童生徒が日本語や必要知識を身に付けることができるよう拠点校(西小学校、中山中学校)に日本語学習指導員を配置するなど、支援体制を強化



評価指標 (K P I)

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
「年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、多様な生き方・暮らし方への理解が深まっている」と感じている市民の割合	39.2%	45.0%	↑



(4)こどもの「権利擁護」の周知啓発

《主な取組み》

- ギ)「高山市こども未来計画(こども用)」の作成、出前授業の開催 別冊19

🔑 評価指標（KPI）

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
こどもの権利をテーマにした官民による講演会や意見交換会などの開催回数（累計）	10回	26回	100回

🗨️ (5) こどもの「意見反映」と参画促進

《主な取り組み》

グ) こども若者オンライン意見箱「言え〜る」の開設、運用 **別冊20**

ゲ) こども若者の意見聴取と反映

○つどいの広場の整備に向けた乳幼児親子の意見聴取など、出された意見を整備内容に反映

🔑 評価指標（KPI）

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
オンライン意見箱などに提出されたこども、若者の意見の数（累計）	—	173件	10,000件
「必要な情報が入手できるとともに、市政へ意見を言える環境が整っている」と感じている市民の割合	42.4%	45.8%	↗

👨‍👩‍👧 (6) 「官民連携」によるこども家庭の施策推進

《主な取り組み》

ゴ) 子育て世代向け市公式Instagram「こども未来編集部」の開設、運営 **別冊21**

🔑 評価指標（KPI）

指標	策定時(R6)	現状値(R7)	目標値(R11)
「多様な主体（市民、町内会、地域内団体、学校、事業者、行政等）が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じている市民の割合	52.9%	57.1%	↗
「必要な情報が入手できるとともに、市政へ意見を言える環境が整っている」と感じている市民の割合	42.4%	45.8%	↗

高山市「つどいの広場」再整備プロジェクト：3か年のリニューアル計画

猛暑や積雪の影響を受けない屋内遊び場の充実化と、その実施スケジュールを市民に分かりやすく伝える。

高山市は「こども未来計画」に基づき、令和8年度から3か年かけて市内の屋内遊び場「つどいの広場」を計画的にリニューアルします。
気候変動による積暑や冬の積雪でも、こどもたちが安心して体を動かせる魅力的な環境づくりを目指します。

全天候型の「屋内遊び場」を充実



猛暑や積雪に左右されず、一年中親子で快適に過ごせる空間を創出します。

遊びの質を高めるエリア分け



大型遊具、ベビーゾーン、ごっこ遊び等、年齢や目的に合わせた区分けを行います。

市民の声を反映した設計



ワークショップやWebフォームで集めた意見をもとに、地域の特色を活かした整備を進めます。

令和8年度：清見・荘川エリア

清見



拠点的整備

拠点以外の整備
(玩具更新等)
清見を拠点的な広場として整備し、荘川でも利用環境を向上させます。

荘川



玩具更新等

久々野



拠点的整備

拠点以外の整備
(玩具更新等)
久々野を拠点とし、周辺地域の広場も順次アップデートします。

一之宮



玩具更新等

朝日



玩具更新等

高根



玩具更新等

令和10年度：丹生川・国府・上宝・奥飛騨エリア

丹生川



拠点的整備

拠点以外の整備
(玩具更新等)
丹生川を拠点整備し、3年間で全ての遊び場を網羅します。

国府



玩具更新等

上宝



玩具更新等

奥飛騨



玩具更新等



整備の
コンセプトと
内容



高山市 公園施設長寿命化計画：未来へつなぐ持続可能な公園づくり

公園施設長寿命化計画の概要 (2026-2035)

 **10箇年にわたる長期的な整備ロードマップ**
2026年度から2035年度までを計画期間とし、計画的な更新を進めます。



便益施設

遊戯施設

125

**合計125の施設を
長寿命化の対象に選定**
便益施設(49箇所)や遊戯施設(43箇所)
を中心に優先的に整備します。

**利用率と地域性を
重視した公園選定**

規模が大きく利用者の多い公園や、地域
のシンボルとなる公園を優先します。

都市公園



36箇所

5(7)箇所
(予定)

地区公園



34箇所

4箇所
(予定)

事例紹介：北山公園の公衆便所改築

before



汲取り式

環境に優しい「バイオマス水循環式」の採用



従来の汲取り式から、水の再利用が
可能な水洗式トイレへ一新しました。

既存
9.93㎡拡張後
21.55㎡

拡張後



**面積を2倍以上に拡張
し、利便性を向上**

既存の9.93㎡から21.55㎡へ拡張し、
木造の快適な空間を実現しました。



**総工費 約4,422万円を
投じた基盤整備**

令和8年3月の完成に向け、電気・
機械設備を含めた全面改築を実施

高山市「こどもの居場所づくり支援事業」～自分らしい未来を自ら選択できるセーフティネット～

共に歩む2つのパートナー（補助対象団体）



NPO法人「風の時代の学校」
（そら風スクール）

代表：片野晶子、拠点：下林町
こどもたちが自分らしく過ごせる
環境を提供しています。



NPO法人「ねこのひげ」

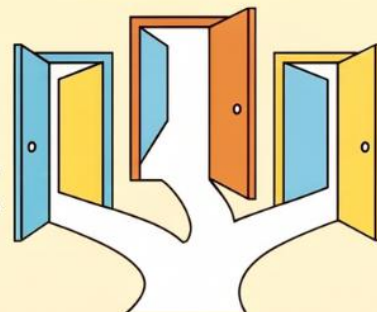
代表：野中小鈴、拠点：神明町
地域に根ざしたこどもの基地と
して活動しています。

令和7年度の事業効果：多様な選択と育ち

「学校に戻ることをゴールとしない」

幅広い学年の利用と
実績数値

小学生から高校生までが利用。そら風
スクール（実人数19名／延べ773名）、
ねこのひげ（実人数19名／延べ802
名）と多くの実績を残しています。



「笑顔」と「通い出し」の変化

不安定だった子が心の安らぎを得て笑顔が見られるよう
になり、自宅から出られなかった子が月数回通えるように
なるなど、確かな一歩が見られます。



自ら選択する
「次のステップ」

居場所での経験を経て、公的な教育
支援センター「であい塾」や「にじ色」
など、次のステージをこども自身が
選択して進んでいます。



学校の「出席扱い」
による安心感

居場所の利用が学校の出席として
認められることで、無理に登校を急
かさない余裕が生まれ、親子に大き
な安心がもたらされています。

事業の目的と 手厚い支援体制

全国トップクラスの補助率

9/10

対象経費の9/10以内、1法人あたり年
上限500万円を補助。民間団体の持続的
な活動を強力にバックアップします。

社会的自立に向けた
権利擁護

不登校児童生徒の権利を守り、
一人ひとりの状況に応じた社会的
自立を後押しすることがこの事業の
目的です。

質の高い支援を
保証する要件

非営利法人であること、2年以上の
活動実績、有資格者の配置、そして
学校・市との定期的な情報共有を
義務付け、支援の質を担保しています。

高山市 不登校児童生徒支援の全体像

～一人ひとりに寄り添う、学びと育ちのネットワーク～

医療連携による 「心のスクール検討委員会」



「不登校になる前」の予防的サポート

悩みのある児童生徒が安心して過ごせる学校づくりを推進し、不登校を未然に防ぐことを目的としています。支援が必要な児童生徒に対する支援体制を構築し、支援の在り方について検討します。

【予防・早期発見と校内居場所】



「心の健康観察」による
早期把握

児童生徒の心の不安定さをいち早く察知し、未然防止と早期対応につなげます。



校内の安心できる居場所
(校内教育支援センター)

自分のペースで過ごしたり
個別学習ができる場所を各
小中学校に整備してい
ます。

【専門機関・窓口】



高山市教育支援センター
(一之宮支所3階)

不登校に関する総合窓口として、
専用ダイヤルでの電話相談や来
室相談、スクールカウンセラーの
訪問・派遣を総括しています。

【自立・学習支援】



適応指導教室
「であい塾」



一之宮町を拠点に、学習支援、農業・野外
体験、移動であい塾、オンライン相談、
心理士によるカウンセリングなど、社会的
自立を多面的に支援します。



学びの多様化教室「にじ色」

宮中学校の分教室(文科省認定)。ゆとりあるカリキュ
ラムや独自のゼミ、魅力的な環境で、自分に合った
学び方を選択できます。



【官民連携・保護者支援】



不登校対応連携会議

民間のフリースクールや居場所
運営団体と情報共有し、ガイド
ラインやリーフレットを作成する
など連携しています。



孤立させない
「保護者支援」

「親の会」や学習会の開催、
であい塾友の会(130名)による
活動支援など、家庭を支える
コミュニティがあります。

5歳児健診でつなぐ、こどもの未来と安心のサポート体制

令和7年度

令和7年度より
「5歳児健診」が本格始動
専門家チームによる
集団健診の実施

医師・保健師・発達支援専門員が連携し、
心身の成長と社会性を確認します。

約**46.6%**の
こどもに
「発達のサイン」
を発見

健診を通じて、
言葉や行動など就学前に
サポートが必要な課題が
早期に見つかります。

笑顔で参加できる健診会場

保護者とこどもが安心して相談できるよう、
多職種が寄り添う体制を整えています。

医師

心理士

保健師

発達支援
専門員

令和8年度からフォローアップがさらに手厚く

NEW

委託による
「専門的な言語訓練」を開始

健診で見つかった言葉の課題に
対し、令和8年度から専門家による
訓練を導入します。

切れ目のない
支援体制の構築

保健

医療

福祉

保健・医療・福祉が一体となり、
健診から事後指導まで一貫して
こどもを支えます。

ことばの課題

16.6%

情報・行動の課題

8.7%

目の動き・視力

7.7%

飛騨地域の周産期医療を支える「母子保健医療協議会」

高山赤十字病院を中心とした「飛騨地域周産期母子保健医療協議会」の活動概要です。行政と医療機関が対等な立場で連携し、センターの運営にとどまらず、地域全体の母子保健体制（教育・支援・予防）を包括的に構築することを目指しています。

協議会の役割と連携構造



行政と医療機関の対等な対話
センター運営の議論に留まらず、地域全体の母子保健体制づくりに向けた意見交換を行う場

「保健」を重視した包括的アプローチ
医療だけでなく予防・支援・地域連携を含めた幅広い活動を「地域主体」で推進する。



多角的な運営体制
行政、医療機関、そしてNPO等の関係者が一体となり、飛騨独自の周産期ネットワークを形成

地域に根ざした具体的な支援事業

プレコンセプションケアと性教育



プレコンセプションケアと性教育
助産師による出前講座を150回以上実施
命の誕生を伝え、自己肯定感を育む教育を推進

デジタル化による妊産婦支援



デジタル化による妊産婦支援
周産期タブレット端末を導入し、動画教育や情報共有を効率化。入院・育児指導を強化



入院家族への寄り添い支援
NPO法人と連携し、小児入院の付き添い家族へ「応援バック」の配布や精神的サポートを提供

産後ケア委託料

ケア項目	委託料
宿泊型(1泊2日)	27,000円
通所型(1日)	16,200円

高山市の新しい授乳室

整備の概要



令和7年度「こども未来計画」
に基づく2か所の新設



市役所本庁舎1階（福祉課横）
保健センター1階（休日診療所受付奥）



整備費用（決算額）：4,785千円
市民の利便性向上と子育て支援環境の充実
のため、適切に予算が活用されました

飛騨の伝統技法の融合



「飛騨の匠」の技と
県産ヒノキの活用

岐阜県産のヒノキを贅沢に使用し、木のぬくもりを感じられる温かいデザインになっています



緻密な
「千鳥格子」の壁面

檜の角材を互いちがいに組んだ「飛騨の匠」独自の伝統技法が、視覚的な美しさとプライバシーを両立させています



伝統的工芸品
「飛騨春慶」の看板

授乳室のピクトサインや看板には、高山が誇る伝統の漆塗り技法「飛騨春慶」施されています



※イメージ
（実物とは多少異なります）

快適な設備と用途



コンパクトでプライバシーに
配慮した専用個室

ブース状の専用空間で、周囲を気にせず
利用できます



授乳用
ベンチ



ベビー
チェア



荷物置き



冷暖房機能付き
空気清浄機



年中快適に過ごせる「冷暖房機能付き
空気清浄機」を備えています



「授乳」だけでなく
「搾乳」にも利用可能

多様なニーズに応え、外出先での搾乳が
必要な保護者の方も安心して利用できる
設計です

未来の医療を担う「人」を育てる(ソフトの取り組み)

寄附講座「ともつく」による「地域共創型」の人材育成

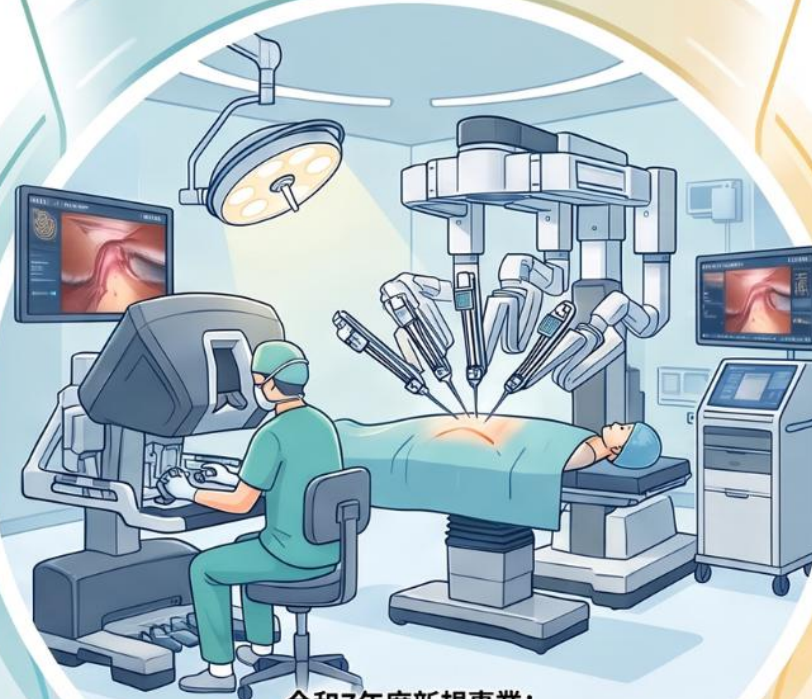


充実した支援制度



医学生の実習費助成やメディカルハイスクール等を通じて、医療の担い手を応援します。

地域医療の維持・強化

令和7年度新規事業：
手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入

手の届きにくい患部の手術を可能にし、患者と医師双方の身体的負担を大幅に軽減します。

最先端技術で「命」をつなぐ(ハードの取り組み)

医療DXによる高度医療機関との連携

大学病院等と情報共有システムで結び、市内で高度な治療を完結できる体制を構築します。



遠隔医療と移動診療の活用

オンライン診療車等を活用し、広い市域のどこに住んでいても適切な医療を届けます。



高山市の住民、地域の医療従事者、将来の医療職を目指す学生・保護者



安心して産み育てるための「移動支援」

高山市は広大な面積を持ち、都市部からの距離があるため、通院や出産時の移動が大きな課題となっています。これに対し市は、全ての妊婦への一律支給に加え、遠方通院が必要な方や不妊治療中の方へ手厚い助成を行い、安心して子供を産み育てられる環境を整備しています。



令和7年度～



妊娠・出産に関するサポート

全ての妊婦さんに一律2万円を支給

妊娠届出時に、確実な健診受診を支援するため交付されます。



遠方通院・宿泊費の追加助成

60分以上の移動や特定センター利用時の宿泊費(最大14泊)を支援。

令和8年度～



不妊治療に関するサポート

不妊治療の交通費を8割助成

体外受精など、片道60分以上かかる通院の負担を大幅に軽減します。



対象は「安全・安心」のための移動

居住地を問わず、適切な医療が受けられる環境を保障します。

助成内容の全体像



支援項目
妊娠届出時

対象となる方
全ての妊婦

助成の内容
一律
20,000円



支援項目：遠方・周産期医療
対象となる方：片道60分以上・指定医療機関
助成の内容：交通費の実績 + 宿泊費
(最大14泊)



支援項目：不妊治療
対象となる方：体外受精など(片道60分以上)
助成の内容：交通費の8割

公立保育園にお昼寝コットを導入! ~みんなにやさしい午睡環境へ~



午睡(ごすい)用コットとは?



お昼寝に使用する園児専用の簡易ベッドです。床から高さがあるため、夏は涼しく冬は暖かく、ホコリからも遠ざかることができます。



実際のお昼寝の様子
コットにお気に入りのタオルを敷くだけ。園児はリラックスしてお昼寝をします。

導入の概要

公立保育園に試験的にコット400台、台車24台を導入した

- 令和7年7月より、高山市内全ての公立保育園(城山、山王、岡本、荘川、久々野、朝日、本郷、栃尾)で使用を開始しています。

みんなが嬉しい! 導入のメリット



毎週の大きな布団の持ち運びや、洗濯・乾燥の準備が大変...

導入前: 保護者の大きな負担
毎週の大きな布団の持ち運びや、洗濯・乾燥の準備が大変で、登降園時の大きな負担となっていました。

以前(重い布団の準備)



保護者の負担を大幅カット
毎週の大きな布団の持ち運びや、洗濯・乾燥の準備が不要になり、登降園が楽になります。

Before & After

現在(コットで快適)



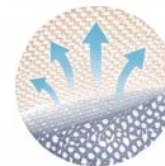
保育士の業務効率アップ
重い布団の上げ下ろし作業がなくなり、コットを並べる・重ねるだけの簡単な準備で、保育に集中する時間を確保できます。

準備が楽になって、こどもと向き合う時間が増えた!



良好な午睡環境の整備
品質や規格を統一することで、全ての園児に安全で質の高い睡眠環境を平等に提供します。

コットの優れた特徴



通気性抜群のメッシュ素材
シートはポリエステルPVCのメッシュ構造で、汗をかきやすい園児でも蒸れにくく、快適に眠れます。



いつでも清潔! 丸洗い可能
シートは取り外して丸洗いできるため、確実な衛生管理が可能です。



スタッキングでコンパクト収納
使用しない時は重ねて保管できるため、教室のスペースを有効に活用できます。専用の台車(ワゴン)で移動もスムーズです。

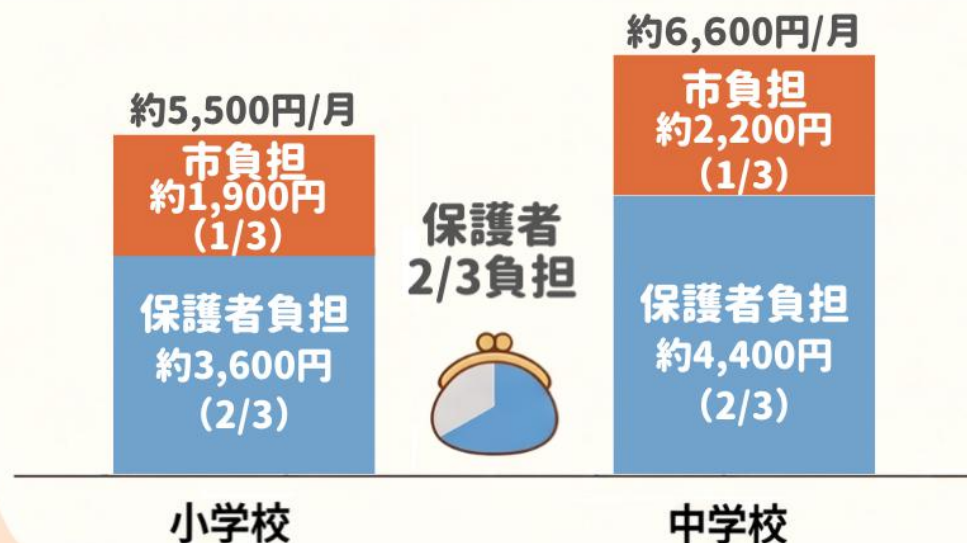
令和8年4月開始!

高山市の学校給食費「完全無償化」



高山市は子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和8年4月から小中学校の給食費を完全に無償化しました。国・県の支援と市が連携し、「保護者負担ゼロ」を実現しています。

令和7年度(見直し前)



令和8年度(見直し後) 完全無償化!



+ 「食物アレルギー代替弁当補助金」を新設
重度の食物アレルギー等で弁当持参が必要な場合、
給食費相当額を補助します(令和8年度～)。



給食の「質」と「地産地消」も継続して強化
アレルギー対応差額や地産地消「まるごと飛驒の日」
等の経費も、引き続き市が負担します。

ひとりで抱え込まないで。高山市「こども誰でも通園制度」で親子にリフレッシュを

令和
8
年度～

制度の概要と実施施設

対象は「保育所等に通っていない」

生後6か月から
満3歳のお子さん

普段はおうちで過ごしている
お子さんなら誰でも利用可能です。



1時間300円で、
月に10時間まで
利用可能

1時間単位で予約できるので、
少しの用事やリフレッシュに最適です。

育児の悩みや不安を相談。
お母さんの心も軽く

預けるだけでなく、保育士に相談
することで育児がもっと楽になります。

家で二人きり…
少し疲れちゃったな

遊びがマンネリ化して飽きてしまったお子
さんも、園なら新しい刺激がいっぱいです。



経験豊富な保育士さんと
「楽しく遊ぶ」体験を

お子さんはプロの保育士や
友達と関わり、家庭では
得られない経験ができます。



高山市内 6つの実施保育園



岡本



荘川



久々野



朝日



本郷



栃尾



飛騨高山のスポーツ環境が進化！新野球場の整備と快適な施設づくり

高山市は「スポーツが身近となる機会の創出」を目指し、中山公園野球場の全面整備を進めています。
あわせて、ビッグアリーナへの空調設備の整備やスポーツ施設スマートロック化など、利便性と快適性を高める関連事業も展開しています。

硬式・軟式両対応の 本格派スタジアム

黒土の内野と人工芝の外野、
LED照明、1,090席の観客席
を備えます。

選手と観客に優しい 充実の付帯設備

300席の屋根付き席や、
冷暖房完備の選手控室、
大型スコアボードを整備。

2028年（令和10年）オープン！
新野球場の誕生

令和7～9年度に整備

令和10年度供用開始予定

もっと便利に、快適に！ 関連する取り組み

暑さ対策！ ビッグアリーナに 空調設備

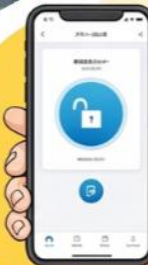


飛騨高山ビッグアリーナへ空調設備を整え、夏季等のスポーツ環境を改善

スマートロック拡大で 施設利用をスムーズに

スマートロック拡大で 施設利用をスムーズに

大八グラウンドでの実績を活かし、
スマホ等で解錠できる仕組みを順次拡大



地域の未来を創る！高山市×ひだ財団「若者活動支援プログラム」

若者が地元でやりがいを持って活躍できる環境を整える、2つの強力な支援制度を比較！

【若者活動支援事業補助金】はじめての一步を全力応援！

【高校生地域活動支援事業補助金】高校生が主役の本格プロジェクト！

令和5年度開始「#たかやまユースプロジェクト」

令和7年度開始！地域を動かす高校生の挑戦



まちの保健室ひまわり

10/10 (補助率)
上限20万円

16歳から35歳未満の若者3人以上の団体が対象。
地域の魅力を高める「はじめての一步」を支援する
愛称付きの制度です。
若者にとってやりたいことを形にできる支援内容
です。



飛騨獅子舞フェスティバル



ジグソーパズルアート

令和7年度の多様な活用事例：伝統文化・福祉・アート等の幅広い分野で若者が活躍！

高山市とひだ財団が
「資金」と「伴走支援」の
両面からバックアップ！

1/2 (補助率)
上限100万円

飛騨地域の高校生5名以上の団体が対象。
大人(サポーター)の助けを借りながら、高校生が
自ら企画・運営を行います。
補助金だけでなく、企業への協賛金集めや参加
費徴収を通じて、社会で役立つ「実践的な力」を
養うことを重視しています。



活用事例：高校生主催イベント「MAP」：地元出身タレント「流れ星☆」の出演や
コンサート、企業訪問会などを高校生がすべてプロデュースし、大きな話題となりました。

職場を超えた“社外同期”と出会う場所：若手社員セミナー「YAONA!」

「共感」を軸に成長するYAONA!のステップ



アイスブレイク& グループワーク

自己紹介や仕事の悩みを共有し、職種を超えた「共感（やおな!）」を見つけます。

地元企業の先輩によるパネルトーク

複数の地元ゲスト講師が登壇し、多様なキャリアや働き方のヒントを伝授します。



スキルアップ講座& ネットワーキング

実践的なビジネススキルを学び、最後は名刺交換や飲食を伴う交流会で絆を深めます。



第1回

100%

参加者32名全員が
ポジティブな評価

第2回

96%

「非常に良い」と「良い」
で圧倒的多数

圧倒的な高評価と参加者の変化



“社外同期”ができることで
前向きな変化

「自分と同じ悩みを持つ仲間に出
会えて励みになった」と、業務への意
欲が向上します。

参加者満足度は

毎回96%~100%

移住者が選ぶ街、岐阜県No.1! 飛騨高山で叶える「理想の暮らし」



岐阜県内の自治体で 「移住者数1位」を達成

令和7年度には402人と、
過去10年間で過去最高を
更新しました。

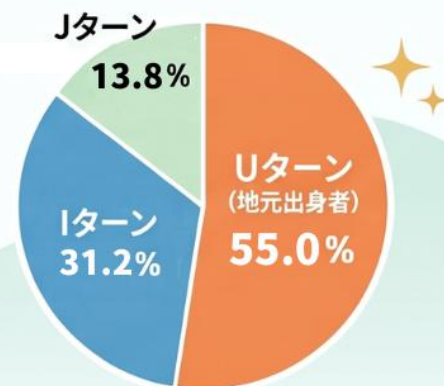


外部評価が証明する「住みやすさ」

移住や定住に関する外部ランキングで上位に選出される成果を得ています。

移住者の「約半数」が 地元出身のUターン組

実際の移住者の約55%がUターンであり、
若者の回帰が進んでいます。



移住を成功させる「包括的な支援体制」

相談から交流まで 「伴走型」の厚いサポート



サポートセンターとコーディネーターが連携し、
移住後の不安も解消します。

移住者ネットワーク 「ツラッテ」による交流促進



移住者同士のつながりを作り、
地域に馴染みやすい環境を整えています。

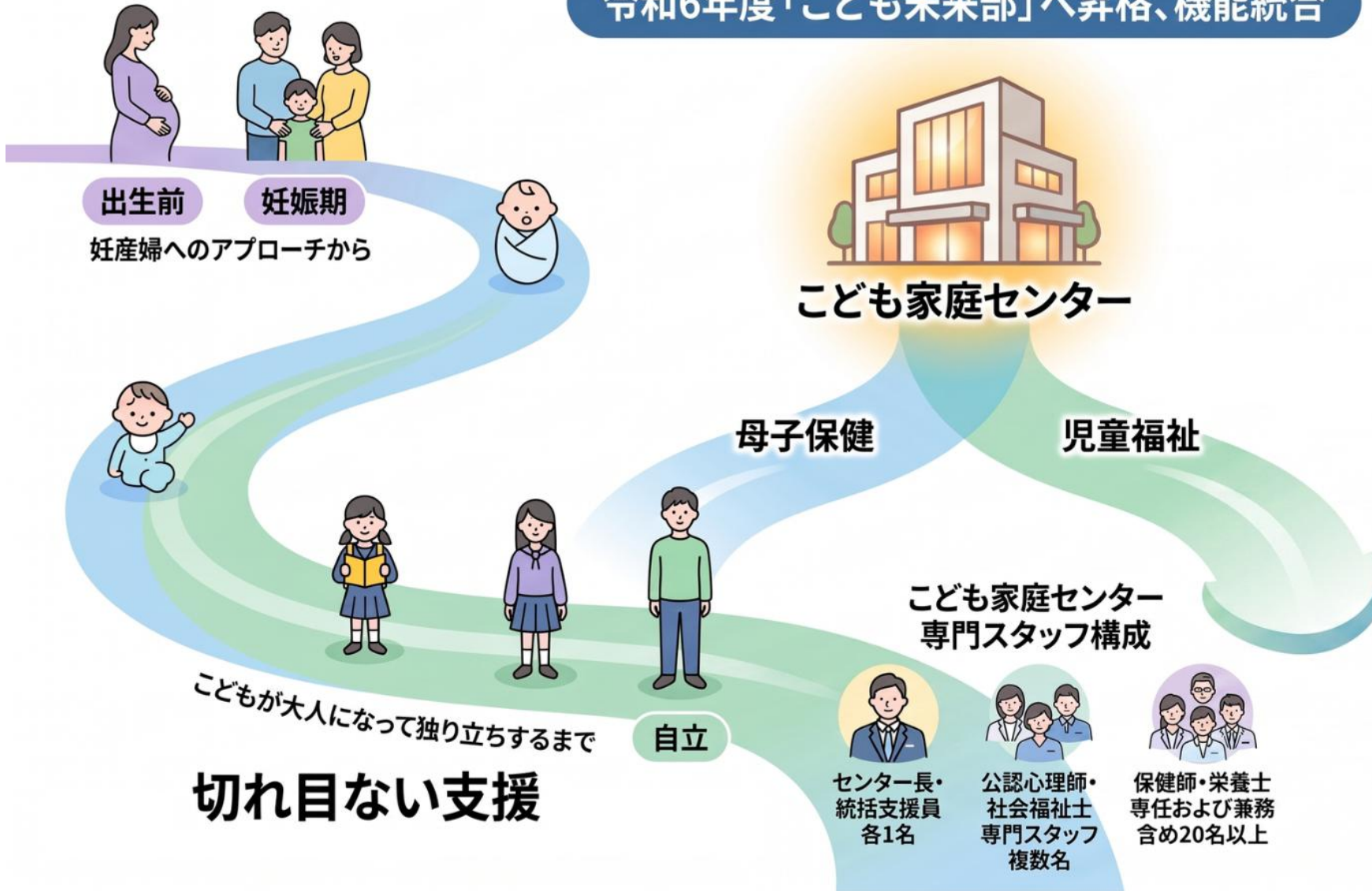
Uターンを促す 「地元就職」への強力な支援



就職支援やセミナー開催を通じて、
若者が活躍できる場を創出しています。

高山市こども家庭センター：切れ目のない包括的支援のカタチ

令和6年度「こども未来部」へ昇格、機能統合



教育委員会との「兼務」
による密な学校連携

事務局係長や指導主事がセンター職員を兼務、
学校現場の情報を迅速に把握し、支援する

「こどもを守るネットワーク」推進

要保護児童等対策地域協議会を通じて、
行政・学校・関係機関が一体となり家庭を支える

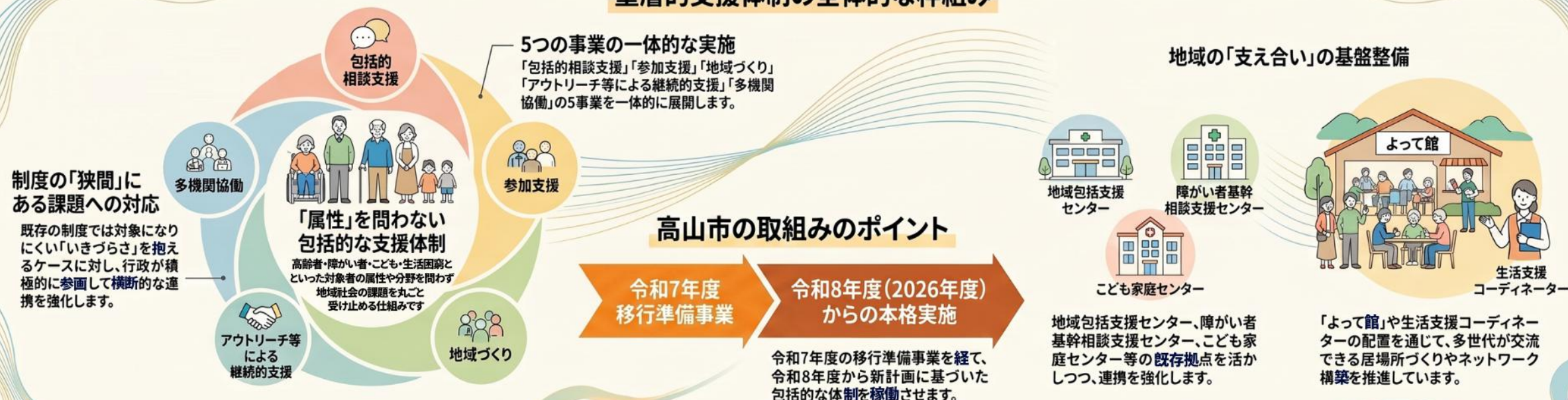


令和
7年度 「専任統括支援員」
を配置、体制強化

専門知識を持つリーダーを配置し、複雑化する
課題に対してマネジメント体制をさらに強化

高山市が目指す「まるごと」の支援：重層的支援体制整備事業

重層的支援体制の全体的な枠組み



令和8年度からの新たな3つの取組み(重点フォーカス)



1. 参加支援事業(社会とのつながりづくり)

既存制度では対応できないニーズに対し、就労支援や居住支援、地域活動への参加など、本人に合った「社会とのつながり」を丁寧にマッチングします。



2. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

支援が届いていない人や支援につながりにくい人に対し、訪問などを通じて継続的に関わり、信頼関係を築きながら包括的支援につなげます。



3. 多機関協働事業(支援のコーディネート)

複雑な課題が絡み合う困難事例に対し、役割分担の整理や支援方針の選定を行い、関係機関が円滑に連携できるよう後方支援を行います。

実績目標と評価指標(KPI)

令和11年度に向けた具体的な目標値

事業名	現状値(R6)	目標値(R11)
参加支援事業 (プラン作成数)	0件	3件
アウトリーチ等 継続支援事業(件数)	0件	5件
多機関協働事業 (相談受付件数)	0件	10件

みんなで創る! 高山市「こども未来計画」～こどもの声が「まち」の未来に～

1. わかりやすく伝える「こども版」の誕生



小学生でも楽しく読める
「こども版」を作成

難しい言葉を避け、図解やイラストを使って
市の計画を分かりやすく解説しています。



未来の「まち」の
姿をイメージ

「みんなが笑顔で幸せになれる
まち」を目指すゴールと、
そこへの地図を示しています。



2. 学校へ届ける「たかやま出前講座」と対話

市の職員が小学校などへ直接訪問
北小学校や花里小学校などを訪れ、計画の内容を
直接こどもたちに説明しています。

こどもの「本音」を聴く対話の時間

講義だけでなく、意見交換を通じてこどもたちが
感じている課題や願いを丁寧に聴き取ります。



出前講座 実施例

実施場所の例

北小学校・
花里小学校
児童センター・
児童館
飛騨高山高校

主な参加者

6年生の
こどもたち
母親クラブ・
親子
高校生

内容

計画の解説と
意見交換
子育て支援に
関する対談
若者の視点による
意見聴取

3. 聴いた意見を未来に活かす

聴いた意見を実際のまちづくりに反映

意見箱や対話から得た声を、公園整備や学習機会の
充実などに活かしていきます。



令和7年度からスタートする「高山市こども未来計画」を、
こどもたちにも自分事として捉えてもらうための取組み NotebookLM

あなたの思いが、高山の未来をつくる。高山市オンライン意見箱「言え～る」

こども・若者の視点が、
高山市をアップデートする。



当事者だから気づくアイデアや意見を、
市の新しい施策や見直しに直接活かしていきます。

ニ オンライン
意見箱
言え～る



出された意見は大切にされ、
次の社会参加へ。



市からの回答やフィードバックを通じて、
自分の声が**市政に反映する「体験」**を届けます。



対象は「**小学1年生から30代**」の皆さん。

小学1年生

小学1年生

30代

30歳

事前登録は不要。スマホやタブレットから、
いつでも、どこでも、気軽に意見を送れます。



匿名でも提出OK!

回答がほしい時は「氏名」を記入。

匿名でも意見は大切に受け止めますが、市からの
直接の回答は「氏名を記入した方」のみとなります。

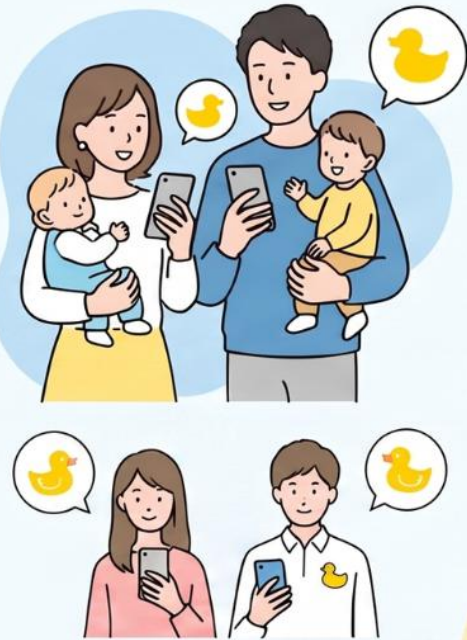
高山市公式Instagram「こども未来編集部」始動！

～子育て世代に“伝わる”広報へ～

取り組みの目的と発信内容

子育て世代に「届く」広報の実現

スマホ利用が中心の世代に合わせ、
鮮度の高い情報をInstagramで直接届けます。



親子で役立つ
多彩なコンテンツ



イベント



子育て当事者の
リアルな声

<https://www.instagram.com/kodomo.takayama.official/>

「こども未来編集部」の運用体制

10名の多彩な市民ライター

男性2名・女性8名が所属
子どもを育てる親の視点を活かします。



市役所(行政職員)
による内容確認



ライターが作成した原稿を行政職員が事前にチェックし、情報の正確性と安全性を担保します。



フルリモート&
スキマ時間を活用

ライターは各自のライフスタイルに合わせ、好きな場所・時間で活動する有償ボランティアです。

